



世界のごみ問題

都市廃棄物の安全な収集・運搬、処理・処分は、都市環境で最も重要なサービスの一つです。世界で都市化が進む中、多くの国では基本的な都市サービスやインフラの不足に直面しています。都市人口が増加し、所得水準が上昇し、経済が消費者志向になるにつれて、生成される都市廃棄物の量は増える一方です。

世界ではどうなっているの？

国際連合広報センターが示しているデータによると、発生した都市廃棄物の約4分の3が収集されています。一方でアフリカでは、発生した都市廃棄物の半分未満しか収集されておらず、住民の健康に悪影響を及ぼしています。さらに、廃棄物が比較的収集されているアジアでも、持続可能で環境に配慮した方法で処理および処分されないことがよくあります。このような廃棄物の管理は、都市部が直面している大きな課題であり続けています。

日本（東京）ではどのように取り組んでいるのだろうか？

東京では「ごみ戦争」に代表されるごみ問題に長年取り組んできたことから、現在は世界からきれいな街として認識されています。これは、区民の皆さんのごみ減量や分別の努力によるものです。世界からは、東京の衛生的な廃棄物管理のシステムを学ぼうと多くの外国人が清掃工場を視察に訪れています。これからも衛生的で持続可能な都市を守りつつ、廃棄物で困っている世界の都市の手本となっていきましょう。